



環の町芳賀 第106回

ケータイもリサイクル！

携帯電話を買い換えたとき、使わなくなったモノをなんとなく手元に残しておきたくて…そんなケータイが3台、4台と増えていませんか？不燃ごみとして捨てようにも、中身のデータが心配で捨てられない、という人も多いかと思えます。

携帯電話の中にはガリウム、パラジウム、金といった希少価値のある金属（レアメタル）が含まれています。レアメタルは、産出国に限られていることに加え、中国などで需要が高まっていて、供給が間に合わなくなる恐れがあります。レアメタルの安定した供給を確保するために、携帯電話リサイクルの重要性が高まっています。

使わなくなった携帯電話（本体・バッテリー・充電器）は「モバイル・リサイクル・ネットワーク」加盟店に持ち込めば、携帯電話会社、メーカーにかかわらず無償で回収してくれます。携帯内部のデータを消去した上で、安全にリサイクルされます。加盟店については、モバイル・リサイクル・ネットワークのホームページまたは販売店にご確認ください。

貴重な資源が眠っていると考えたら、古いケータイをリサイクルに出したくなってきませんか？資源の有効活用にぜひご協力ください。

※モバイル・リサイクル・ネットワーク (<http://www.mobile-recycle.net/>)

環境対策課環境対策係 ☎028 (677) 6041

3月の休館日

8・15・23・29・31日です。

（芳賀町総合情報館）

知恵の環館だより

スタッフから

いよいよ今年度も残すところあと1カ月となりました。

4月から新たな生活がスタートする方も多いのではないのでしょうか。

図書館では新生活に向けた図書の特集や、展示室では国際写真サロンを5日～28日まで開催しています。

だんだん暖かくなってきましたので、お散歩がてらぜひご来館ください。

（清水）

総合情報館（知恵の環館）
☎028 (677) 2525

NEW着刊資料
一般書
 虚ろ舟 宇江佐真理
 数えずの井戸 京極夏彦
 東京アクアリウム 小池真理子
 北帰行 佐々木謙
 カッコウの卵は誰のもの 東野圭吾
児童書
 ライオンとであつた少女
 チリとチリリのゆきのひのおはなし どれい
 ワンガリの平和の木
 ジャネット・ウィンター
 おにごっこだいすき 今江祥智
 ごうた、1ねんせいだしょ ずどうさなえ

今月の1冊
一般書
 海猫ツリーハウス 木村友祐（集英社）
 25歳の亮介は、ファッションデザイナーを目指しながら実家の農業を手伝う毎日。「親父の元で、ツリーハウス作り」に精を込めるが、兄の慎平の帰郷で均衡が崩れ始める。「第33回すばる文学賞」受賞作
児童書
 クリストファーのしあわせないちにち バレリー・ゴルバチョフ 三原 泉訳（偕成社）
 うさぎのクリストファーはヤギ先生から、数の数えかたを教わりました。なんでも教えられることが楽しいのでいつでも、どこでも数を数えてしまいます。新しい知識を得た子ども喜びを描く絵本。

工業団地から、こんにちは

芳賀工業団地連絡協議会に登録している企業を紹介します。

株式会社関電工

県東内線営業所

関電工は、昭和19年に関東電気工事株式会社として設立し、昭和59年に商号を現在の関電工に変更しました。

建物内の電気設備工事や送配電・発電所・原子力発電所などの電力設備工事を中心に、情報通信関連・空調給排水設備・エネルギー関連事業など総合設備企業として、全国に支店・営業所を展開しています。

県東内線営業所は、県東地区の建物内線工事を行う事業所・営業所を統合し、昨年7月の新社屋完成とともに業務を開始しました。電気の送配電のメンテナンスは他の営業所が行い、内線営業所は建物内の電気設備の施工やメンテナンスを主業務にしています。

役場庁舎や県庁などの官公庁、芳賀北小などの学校、本田技研三菱UFJ銀行、ツインリンクも



県東内線営業所長
たべた田学さん

てぎなど、皆さんの身近な施設の電気設備やメンテナンスにも県東内線営業所がかかわっています。お話を伺ったたべた田所長は「住み心地のよい住環境の創造・快適で最新鋭の職場環境・安全で無停電の工場施設など、地域社会のニーズに合わせた質の高い設備を提供し、高い評価を得られるよう、日夜努力し頑張っています」と話してくださいました。

会社名 株式会社関電工
 住所 芳賀町芳賀台46
 電話番号 028 (677) 8302
 従業員数 34人
 本社住所 東京都港区芝浦
 ホームページアドレス 4丁目8番33号
<http://www.kanden.co.jp/>



集まれ！趣味仲間

町内の生涯学習サークルの活動を紹介します。



編み物

生涯学習センター ☎028 (677) 0306

○活動日 毎月第1・3水曜日
13:30～15:30

○活動場所 生涯学習センター

毎年秋に、簡単に編めるベストや小物などの講座を開いています。その講座で、このまま終わらず続けたいという声をいただきました。それがきっかけで、月2回編み物が好きな人たちが集まり、自分の作りたいものを作っています。

他の人が編んでいる物を見ると「今度はあれを編みたい」「こんなものを作りたい」と、どんどん編みたい物が増えていきます。

「独学で編み物をしているけれど、部分的なところだけきちんと教えてほしい」「セーターやベストなどを1着だけ作ってみたい」など、どんな方でも気軽に見にきてください。

自分のペースで編み物をしながら、みんなと楽しい時間を過ごしてみませんか。お待ちしております。

（文・斉藤治子）